

はぐ便り

2018年
2月号1年間の成長を認め
励ましましょう

“家族のありがとう会”のすすめ

雪を照らす陽の光に、春の訪れを感じます。早いもので、今年も卒園・卒業の時期を迎えました。お子さんの成長の節目になるこの時期におすすめしたいのは、1年間の成長を言ひめて励ます「家族のありがとう会」の開催です。

思いやりやお手伝い、ずっとやり通したこと、失敗をバネにしてがんばったことなど、小さな成長を家族皆で言ひめ合うことは、とても大切です。通知表などを参考にしても良いのですが、

「家族から見ての成長を、言ひめて褒めること」がポイント①になります。「お母さんが〇〇したことを褒めてくれた」「お父さんが頑張りを認めてくれた」という思いは、お子さんの成長していこうとする意欲を高めていくことでしょう。



成長記録ノート

小さな成長の数々を「成長記録ノート」として残しておけば、なおよさと思います。気付いた時にメモする程度で十分です。知らない間に、お子さんを見る目が細やかになり、もっと素晴らしい面が見えてくることでしょう。このノートは、お子さんの成長の証になり、やがては宝物になるに違いありません。

今からでも遅くはありませんので、細く長く続けてみてはいかがでしょうか。

✖️が増えたら、それは親の頑張りでもあります。ありがとう会の中で、自分で自分を褒めましょう。

家族のありがとう会プログラム例

- 1 はじめのことは (お姉ちゃん)
 - 2 「ありがとう」発表
 - ① お父さん・お母さんから
 - ① お姉ちゃんの部
 - ② 弟の部
 - ③ 子どもたちから
 - ① お父さんの部
 - ② お母さんの部
 - ③ おじいちゃん・おばあちゃんの部
 - ④ ペットの部 など
 - 3 お父さん・お母さんから手作りプレゼント
 - ★ 賞状 や メダル 等
 - 4 楽しい読み聞かせ (お父さん・お母さん)
 - 5 ゲーム
 - ★ トランプ、かるた 等
 - 6 おわりのことは (弟)
- その後は、楽しい夕食会

『俵万智の子育て歌集

たんぽぽの日々』より2首紹介します。

たんぽぽの綿毛を吹いて見せてやる
いつかおまえも 飛んでゆくから
(子どもといる時間は限られている。
子どもとの今の時間を大切にしたい。)

叱られて泣いてわめいて ふんばって
それでも母に 子はしがみつく
(子どもにとって、ある意味自分は
全世界に近いぐらいの存在なのだな。)

俵万智さんは著書の中で、「子育てで一番大切なことは、お母さんの機嫌が良いことです。」と記しています。子どもの心の港は、やはりお母さん(お父さん)なのですね。

子育ては、「崇高なお仕事」です。一緒に成長していくつもりで、自信を持ってお子さんの成長を楽しんでいきたいものです。



御愛読いただき、ありがとうございました!

家庭教育情報通信「はぐ便り」2018年2月号(通号第53号)

平成30年2月22日発行

発行者・問い合わせ先: 盛岡市教育委員会生涯学習課

住所 〒020-8532 盛岡市津志田 14-37-2

TEL 019-639-9046(直通) FAX 019-639-1516

メール edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

●バックナンバーは市のホームページで見ることができます。